

# 研究通信

No. 149  
1987年7月 刊  
村落社会研究 会  
事務局  
慶應義塾大 学  
経済学 部  
高港 区 三田 2-15-45  
TEL. 03 (453) 4511

## 関西・東海地区研究会

日時 一九八七年六月二三日(土) 午後一時—五時

場所 同志社大学徳照館一階会議室

出席者 岩崎信彦、北原淳、清水由文、高木正朗、

中道仁美、松本通晴、山本正和、脇田健一

今回の研究会では、つぎの二つの点で研究会の特徴を持たせようと考へた。

その一つは、村研のテーマ「土地と村落」の問題をアジアの国に拡げて比較の観点をとった場合に、どのように日本の村落は特徴づけられるのか。北原報告はそのばあいの第一の出発点を与えて呉れる。

第二には、さきに『研究通信』第一三七号(一九八四年六月)に掲載されている中野一新氏の報告「農地政策の展開と土地問題」が京都府南部(都市近郊地域)の農村の土地問題を扱っており、今回はその継承となる内容を用意することであった。それには高木報告がふさわしいものであった。